

情報提供日	令和5年10月20日
担当課	みやざき文化振興課
電話	26-7099(内2258)
担当者	坂元、廣澤

令和5年度宮崎県文化賞の受賞者について

本年度の受賞者は次の2名と1団体に決定しました。

1 受賞者

※年齢は、令和5年11月10日時点

部門	氏名	年齢	所属等	居住地
芸術	ふせ いよこ 布施 伊夜子	85	宮崎県俳句協会顧問	宮崎市
文化功労	まえだ ひろひと 前田 博仁	81	宮崎民俗学会会長	宮崎市
文化功労	宮崎県川南町モー ツァルト音楽祭実 行委員会	—	—	川南町

2 授賞式日時

令和5年11月10日(金) 午後2時30分から

(1) 授賞式：午後2時30分から 県庁本館講堂

- 次第
- | | |
|------------|--------------|
| ① 開式 | |
| ② 式辞 | 知事 |
| ③ 挨拶 | 県教育委員会教育長 |
| ④ 選考審査経過報告 | 県文化賞選考審査会委員長 |
| ⑤ 授賞 | 知事、県教育委員会教育長 |
| ⑥ 来賓祝辞 | 県議会議長 |
| ⑦ 受賞者挨拶 | |
| ⑧ 閉式 | |

(2) 記念撮影：午後3時25分から(予定) 県庁講堂及び県庁正面玄関前

※雨天の場合の記念撮影は、県庁講堂等で実施

宮崎県文化賞は、昭和25年、本県の文化の向上発展に特に顕著な業績を有するものを顕彰することを目的に、県及び県教育委員会が創設しました(今年度で第74回)。

受賞者は、今回の2名と1団体を加えて、これまでで311名と4団体となりました。

令和5年度宮崎県文化賞受賞者及び授賞理由

部 門	芸術部門		
氏 名	ふせ いよこ 布施 伊夜子		
生年月日	昭和13年4月24日	年 齢	85歳
所 属 等	宮崎県俳句協会顧問	居 住 地	宮崎市
推 薦 者	宮崎県俳句協会会長 服部修一 宮崎市芸術文化連盟会長 八代輝霊		
授賞理由	近年の句集「あやかり福」が全国的な評価を受けるとともに、「宮崎の季語」「宮崎俳枕」などの刊行を通して広く俳句を詠む環境づくりに携わり、本県俳句文化の向上発展に寄与した功績 (85字)		
経 歴 (学歴)	昭和32年 3月	宮崎県立大宮高等学校 卒業	
(経歴)	昭和40年	「椎の実」(宮崎)入会 神尾季羊に師事	
	昭和43年～47年	椎の実作家賞5年連続受賞	
	昭和46年	「鷹」(東京)入会 藤田湘子に師事	
	昭和47年	第1回鷹新人賞受賞	
	昭和47年	第5回九州俳句賞受賞	
	平成 9年	第32回鷹俳句賞受賞	
	平成15年～23年	宮崎県俳句協会会長	
	平成26年	「椎の実」代表就任	
	現在	宮崎県俳句協会顧問 宮崎県芸術文化協会評議員 宮崎日日新聞「宮日俳壇」選者 俳誌「椎の実」代表	

令和5年度宮崎県文化賞受賞者及び授賞理由

部 門	文化功労部門		
氏 名	<small>まえだ ひろひと</small> 前田 博仁		
生年月日	昭和17年6月10日	年 齢	81歳
所 属 等	宮崎民俗学会会長	居 住 地	宮崎市
推 薦 者	宮崎民俗学会副会長 那賀教史		
授賞理由	永年にわたり県内各地の民俗、とりわけ神楽の調査研究に尽力し、その成果を「神楽のこころを舞いつぐ」などの著書及び映像資料として広く発信し、本県民俗文化の保存継承及び普及に寄与した功績 (90字)		
経 歴			
(学歴)	昭和40年 3月	国立宮崎大学学芸学部 卒業	
(職歴)	昭和40年 4月	小学校教諭	
	昭和58年 4月	宮崎県総合博物館 主査	
	平成 2年 4月	宮崎県教育庁文化課 主査	
	平成 5年 4月	小学校教頭	
	平成 8年 4月	宮崎県立図書館郷土資料室 主幹	
	平成11年 4月	小学校校長	
	平成15年 4月	宮崎市みやざき歴史文化館 学習員	
	平成16年 4月	清武町きよたけ歴史館 館長	
	平成 7年～25年	宮崎大学教育文化学部 非常勤講師	
(役員歴)	平成 6年～21年	宮崎民俗学会 事務局長	
	平成21年～29年	宮崎民俗学会 副会長	
	平成24年～	宮崎県伝統工芸品等に関する専門委員	
	平成25年～令和3年	みやざきの神楽魅力発信委員会 副委員長	
	平成26年～令和2年	宮崎県博物館協議会 委員長	
	平成27年～令和2年	宮崎県神楽保存・継承実行委員会委員	
	平成30年～	宮崎民俗学会 会長	
	令和元年～	高鍋神楽記録作成調査委員会 参与	
	令和 4年～	みやざきの神楽魅力発信委員会 顧問	

令和5年度宮崎県文化賞受賞者及び授賞理由

部 門	文化功労部門		
団 体 名	宮崎県川南町モーツァルト音楽祭実行委員会		
設立年月日	平成13年2月	年 齢	—
所 属 等	—	所 在 地	川南町
推 薦 者	川南町教育委員会		
授賞理由	地域発祥の音楽祭において、永年にわたり地元合唱団と国内外の音楽家との共演を重ね、本県ゆかりの楽曲を創作し海外での公演に発展させるなど、本県の地域文化振興及び青少年育成に寄与した功績 (90字)		
経 歴 (沿革)	平成13年 2月	設立 以降、毎年12月に町内で音楽祭を開催。 (令和2,3年度は新型コロナウイルスにより中止。)	
	平成22年	第6回公演以降、地元中高吹奏楽部との共演開始 第10回記念公演(口蹄疫からの復興を祈る音楽祭) 県立芸術劇場でも開催	
	平成30年	第18回公演 木城町での移動音楽祭も実施	
	令和元年	第19回公演 小林市での移動音楽祭も実施	
	令和 4年	第20回記念公演	
		(海外公演歴)	
	平成17年	第1回ヨーロッパ公演	
	平成21年	第2回ヨーロッパ公演	
	平成25年	第3回ヨーロッパ公演(オーストリア) 口蹄疫、東日本大震災をテーマとした「復興」の ヨーロッパ初演	
	平成29年	第4回ヨーロッパ公演(オーストリア、イタリア) 伊東マンショの偉業を顕彰する「交響詩曲伊東マ ンショ～時を超える祈り～」創作、演奏	

令和5年度宮崎県文化賞受賞者



【芸術部門】 布施 伊夜子



【文化功勞部門】 前田 博仁



【文化功労部門】 宮崎県川南町モーツァルト音楽祭実行委員会